

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和7年度】

(評価日令和8年6月30日)

1 施設の概要

施設名	種市レクリエーション施設、駐車場及び環境整備施設
所在地 電話・FAX HP・電子メール	九戸郡洋野町種市 18-105 電話 0194-65-5555
設置根拠	岩手県漁港管理条例
設置目的	(設置：平成8年4月1日) 海洋レジャーの進展に対応して、漁船と漁船以外の船舶を分離収容することにより、漁港利用の秩序を保持し、漁業と海洋性レクリエーションの調和のある発展を図る。
施設概要	1 敷地面積 レクリエーション等施設(船揚場 3,420 m ²)、漁港環境整備施設(公園 5,200 m ²)、駐車場 2,506 m ² 2 主な施設 陸上保管スペース 25 隻、海上保管スペース 38 隻(栈橋 2 基)
施設所管課	岩手県農林水産部漁港漁村課 (電話 019-629-5827、メールアドレス AF0014@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	洋野町
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)
連絡先	洋野町水産商工課 (Tel0194-65-5916)

3 指定管理者が行う業務等

業務内容（主なもの）	施設使用許可に係る事務及び施設管理		
職員配置、管理体制	2名（R8年3月31日現在）	組織図 課長 — 水産振興係長 — 水産振興係	
	（内訳） 正職員2名、他外部委託（施設清掃）		
利用料金	無し（施設使用料は県に帰属）		
開館時間	規定なし	休館日	規定なし

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間 平均	指定管理期間									備考
		H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06	R07	期間 平均	
第1四半期											
第2四半期											
第3四半期											
第4四半期											
年間計 (実績)	15,381	16,534	16,228	16,554	14,073	18,025	13,735	12,520	11,563	14,904	
年間計 (計画)											

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		前期間 平 均	指定管理期間									備考
			H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06	R07	期間 平均	
収 入	利用料金収入											
	県委託料	3,532	3,618	3,514	3,885	3,545	3,590	3,305	3,267	3,385	3,514	
	自主事業収入											
	小計	3,532	3,618	3,514	3,885	3,545	3,590	3,305	3,267	3,385	3,514	
支 出	人件費	500	672	510	474	351	464	555	475	737	530	
	維持管理費	3,402	2,979	2,806	3,897	3,605	3,259	3,387	3,878	4,028	3,480	
	事業費											
	自主事業費											
	小計	3,902	3,651	3,316	4,371	3,956	3,723	3,942	4,353	4,765	4,010	
収支差額		▲342	▲250	198	▲486	▲411	▲133	▲637	▲675	▲1,380	▲496	

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	利用者からのアンケート、口頭等	実施 主体	指定管理者（洋野町）
------	-----------------	----------	------------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情2件、要望3件、その他 件	
主な苦情、要望等		対応状況
① 斜路を緩やかにしてほしい。海藻や貝類等が付着してトレーラーのタイヤがパンクするなどして危険。		5、8月の年2回専門業者へ委託し、斜路の清掃を実施しているが、1か月ほどで海藻類が再度繁茂してしまう。
② （岸壁利用者）満潮になると岸壁が低い ため船の乗降が困難になる。岸壁を高く してほしい。柵が邪魔で乗り降りしづら い。		未対応
③ 冬季にゲートのレール部が凍結して開か なくなるので対応してほしい。		未対応
その他利用者からの積極的な評価等		

7 業務点検・評価（※）

(1) 業務の履行状況

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価 指標
運営業務	基本協定書に記載した運営業務を良好に実施すること。	基本協定に則り、業務をおおむね良好に遂行している。	B
施設の利用状況	利用者の平等な利用を図り、設置目的を達成すること。	施設利用状況は減少していることから利用促進（PR）を図っている。	B

事業の実施状況	利用促進のための方策を実施すること。	施設巡回による不具合箇所の早期対応など利用向上に努めている。	B
施設の維持管理状況	基本協定書に記載したリスク分担表に基づき良好に維持管理すること。	基本協定に則り、施設を良好に維持管理している。	B
記録等の整理・保管	施設の運営に関し作成し、取得した書類等は、5年間保存すること。	関係書類については、管理開始年度から継続保存している。	B
自主事業、提案内容の実施状況	施設の利用促進のため、提案のあったマリンフェスタ等の実施。	イベントを開催することで施設利用促進が図られている。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 敵的な巡回により、早期に不具合箇所が発見され施設の利用促進が図られている。 ・改善を要する点 防犯対策（部外者の立ち入り、窃盗、いたづら等）			B

(2) 運営体制等

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	使用許可、施設巡回等のため町担当職員を2名配置すること。	担当職員2名を配置し、使用に係る指導・巡回等を実施している。	B
苦情、要望対応体制	町担当職員により、責任ある対応をすること。	担当職員が、苦情・要望等の対応を行っている。	B
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害発生時は、地域防災計画に基づくなど、適正に対応すること。	洋野町地域防災計画等に基づき、適切に対応することとしている。	B
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	基本協定書中の個人情報取扱特記事項に基づき適正に取り扱うこと。	基本協定に則り、適正に取り扱っている。	B
県、関係機関等との連携体制	管理運営に当たり、協力・連携に努め、良好な関係を維持すること	適正な施設管理運営のため、連携を密にしている。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 協定書の内容のとおり実施し、県と連携を取り合いながら、適切な運営体制のもと維持管理に努めている。 ・改善を要する点 特になし。			B

(3) サービスの質

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	管理運営業務仕様書に基づき、管理運営業務を実施すること。	管理運営業務仕様書のとおり、実施している。	B
利用者サービス	事業計画書に基づき、利用サービスの向上を図ること。	施設清掃や施設の安全管理を十分にを行い、サービス向上に努めている。	B
利用者アンケート等	サービスの質を向上させるため、利用者アンケート等に努めること。	利用者からの聞き取り等によりサービス向上に向け努力している。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 利用者からの聞き取り等を実施してサービス向上に努めている。 ・改善を要する点 特になし。			B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	事業計画を適切に実施するため、収支の均衡を図ること。	収支の均衡はおおむね図られている。	B
指定管理者の経営状況	指定管理業務を適切に実施するため、良好な経営状況であること。	指定管理業務を適切に実施するため、良好な経営状況となるよう努力している。	B

(施設所管課評価) ・成果のあった点 サービスが安定的、継続的に提供されている。 ・改善を要する点 施設使用料収入及び施設利用率の向上に取り組む必要がある。	B
--	---

※(注1) 県記載欄:「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄:「実績(自己評価)」

(注2) 評価指標

- A: 協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績(効果)があり、優れた管理がなされている。
- B: 概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績(効果)があり、適切な管理が行われている。
- C: 一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D: 協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項 たねいちウニまつり、マリンフェスタの開催により、施設の利用促進及び本町のイメージアップと地域活性化に大きく寄与している。また、施設利用者となるべく話をし、利用しやすい施設になるよう取り組んだ。
② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項 係留施設の利用促進により、利用料収入の増加を図っていききたい。また、過去に被害にあった利用者もおり常に防犯対策をしてほしいと要望を受けているが、簡単に対策できないため苦慮している。 アンカーブイや浮桟橋の設置により泊地が狭隘であることや、護岸に防舷材等の緩衝設備がないことから、船舶の移動には管理者、利用者ともに細心の注意が必要であるため、施設利用環境の改善が必要と思われる。
③ 県に対する要望、意見等 ・施設利用者以外の無断立ち入り(釣り、バーベキュー等)に対応するため、施設の案内を兼ねた看板設置(キャンプ等利用料金、注意事項(英語表記案内等)や防犯対策(フェンス嵩上げ等)をお願いしたい。 ・水域係留保管利用者向けの給油や荷物の積み下ろし共有スペースがあった方が良くと思われる。 ・老朽化等により護岸の一部が破損しているほか、係留方法や係留箇所の空きを巡って利用船舶同士のトラブルや、利用申請を断念するケースが発生していることから、浮桟橋部のクリートをボラードに更新または増設など設備の係船能力の向上や係船区画の再整備など施設利用環境の改善に向けた取り組みについて、検討を進めてほしい。 ・陸揚げ斜路のコンクリートに海藻類が付着し、滑るなどして利用者が転倒する事例が起きており、令和4年度から専門業者への委託により年に2回斜路の清掃を行っているが、清掃しても1か月ほどで海藻類が再度繁茂してしまい状況がすぐに悪化するため、斜路の母材を変更するなど海藻類の繁茂対策について検討を進めてほしい。

(2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について ・基本協定書に則して運営されており、運営状況は良好。 ・イベントの開催により、施設利用者の拡大に努めており、評価できる。
② 県の対応状況について(自己評価) ・指定管理者と連絡を取り合い、施設の維持管理に努めているが、補助事業等がないため、十分な修繕等が出ていない。
③ 次期指定管理者選定時における検討課題等 ・施設の利用率及び使用料収入の向上に向けた取組を実施していく必要がある。 ・注意看板や防犯対策について検討する必要がある。 ・老朽化対策等を実施するための予算を確保していく必要がある。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目(C、D評価の項目について)

改善状況
(指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日)
改善状況の確認
(再評価年月日 年 月 日)